

# 受賞者《南海電気鉄道株式会社》

## ＜鉄道事業者による総合的な環境保全への取り組み＞

「南海環境ビジョン2030」を実現する施策として、鉄道車両の省エネ車両への更新、駅のコンコース・ホームのLED化を推進し、CO2削減に貢献するとともに太陽光発電システムの導入による再生エネルギーの普及にも努めるなど体系的な環境改善に取り組んでいる。

また、「ECO ニストプログラム」を導入するなど、高い環境意識を持って積極的・主体的に環境活動に参加する社員を認定し、認定証を授与するなど独自の取り組みも行っている。

全社的に環境活動を力強く推進するため、同業種では数少ない会社全体の統括機能を有する本社でISO14001を取得するなど、環境にやさしい事業運営の実現・向上に向けて、継続的に取り組むことにより環境負荷低減にも貢献している。

## 1. 南海電気鉄道の概要

当社は、明治18年12月27日創業、私鉄としては日本最古の歴史を持ち、創業133年を迎えた鉄道会社です。グループ会社76社を含めると営業収益は2,278億円、従業員数は9,158人となります。大阪府南部と和歌山県北部を地盤としており、なんば、関西空港、和歌山市、高野山を結ぶ鉄道事業を中心になんばパークスや、なんばCITYなどの商業施設の運営、不動産事業などを手掛けています。近年では関西空港から多くの訪日外国人がご利用いただき国際色豊かな沿線となっています。

当社では、社会一般に環境問題に対する意識が高まる中で、2008年に環境への具体的な取り組みを推進する組織として、環境推進部を創設いたしました。同年、中期経営計画「堅進126計画」で、CSRを強く意識し、5つの基本方針の筆頭に「環境保全のための取り組み強化」を掲げました。

2009年には大阪府と「グリーンパートナー協定」を締結し、2010年には車両基地である千代田工場において、また、2012年には本社部門においてISO14001の認証を取得しました。2013年には自社所有の森林「なんかいの森」において、J-クレジットの認証を取得し、翌年2014年には大阪府等と、「おおさか生物多様性パートナー協定」を締結し、従業員のボランティア活動を促進するECOニスト制度を導入しました。



## 2. 南海電鉄環境ビジョン2030の策定

南海電鉄グループとしましては、地球環境に関する課題認識を発展させ、幅広いステークホルダーへの社会的責任を果たすことで当社グループの持続的成長に資することを主旨として、「南海環境ビジョン2030」を昨年度制定しました。同ビジョンは、あらゆる事業活動を通じて環境問題の解決に貢献していくことが企業価値向上につながるという認識のもと、当社の中期経営計画「共創136計画」と連動しています。

特に、環境問題の中でも、当社グループの事業活動に影響が大きい「地球温暖化」「循環型社会」「生物多様性」の3項目とこれらの基盤となる「環境マネジメントシステム」を環境課題ととらえ、2030年の目指すべき方向性からバックキャスティングにより、各年度の実行施策を策定しています。

また、環境ビジネスによる収益源の拡充ならびに自治体との連携により、事業価値のみならず沿線の環

境価値の向上に貢献していきます。

具体的な取り組みとしてはCO<sub>2</sub>削減の中心となる鉄道車両の更新(新造車両導入)は2020年までに南海線24両とケーブルカー4両、2023年までの6年間に高野線6000系の全車両72両を更新する予定です。その他駅トイレ40か所をリニューアルし、駅コンコース・ホームのLED化については南海本線と高野線(支線を除く)のほとんどの駅に導入いたします。また、2018年10月竣工予定のなんばスカイオ(旧南海会館ビル)はサステナブル建設物等先導事業(省CO<sub>2</sub>先導型)に採択されるなど様々な環境への配慮が組み込まれています。

### **3. ECOニスト(環境活動に取り組む社員)の認定制度**

当社の特徴的な環境への取り組みとして2014年4月1日から導入したECOニストプログラムがあげられます。ECOニストとは、高い環境意識を持って積極的、主体的に環境活動に取り組む当社の社員を指し、社内各部門で実施している環境活動(植林、間伐活動等)や清掃活動(海岸の清掃活動、まちなかの清掃活動等)等を集約し、ボランティアとして社員参加を募ります。年2回以上環境活動に参加した社員を「ECOニスト」として認定し、認定証を授与する制度です。

さらに、複数年ECOニスト表彰も2016年からスタートし、ECOニストに3回以上認定された社員をECOニストアドバンスとして社長名で表彰しています。

初年度の2014年度はわずか43名のECOニスト誕生でしたが、対象活動を増やすとともに参加者募集を社内イントラネットにて情報発信をしたところ、2015年度は100名と2倍以上、2016年度は128名、2017年度は178名と急速にECOニストが増加しています。さらに当社ではISO14001を本社部門に導入しており、ECOニストの認定者数も更新審査の認証の対象としております。

今後もさまざまな地球環境問題を南海グループ全体の課題ととらえ、社員一丸となって取り組んでまいります。



南海電気鉄道株式会社  
取締役社長 遠北 光彦  
〒542-8503

大阪市中央区難波五丁目1番60号  
電話 06-6631-6300(環境推進部)  
南海電鉄グループでは「安全・安心の徹底」、「環境重視」、「コンプライアンスの徹底」、「顧客志向の追求」を普遍的なグループ経営方針として位置づけ、公共交通事業者として、環境への影響を常に配慮し、自然環境にやさしい社会作りに向けて取り組んでいます。

政府は2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標を掲げ、その達成に向けて政府だけでなく、事業者や国民が一致団結して「COOL CHOICE」を旗印に国民運動を展開すると発表しました。

当社もその方針に賛同するとともに、「サービス」「行動」など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を社員全員で実行してまいります。